御幸小学校
学校通信
ＮＯ １２

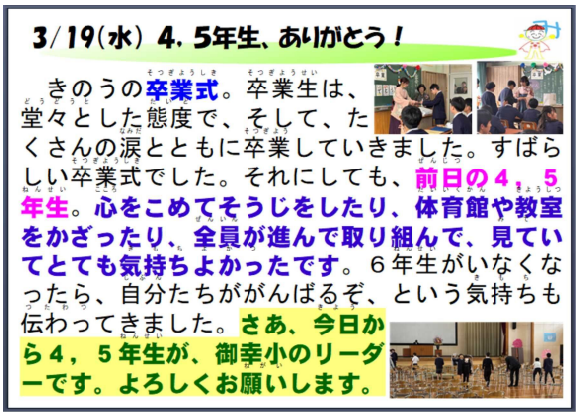
御　幸

令和７年３月２４日
うきは市立御幸小学校
校長　松田清孝　文責

祝卒業　65名の卒業生のみなさん　そして…

３月１８日の卒業式。この１年間、御幸小をやさしさと笑顔でいっぱいにしてくれた６年生が、胸を張って卒業しました。本年度の６年生の活躍、がんばりはたくさんありますが、特に例年にないものとしては、長縄の継続とスポコン大会での入賞です。朝の体育館での活気は、６年生がずっと継続して取り組んできたことが大きいです。でも、それ以上に大きいのは、相手のことを考えた言動ができ、『友達同士での悪口、下級生への悪口』をほとんど聞いたことがない（もちろん、友達同士でのちょっとしたけんかはありましたが…）ということ。下級生から、「６年生から～（よくないこと）されました！」という訴えが、この１年ほとんどなかったということです。そのプラスの影響で、５年生以下についても、いわゆる「ちくちく言葉」は、とても少なく、「あったか言葉」はものすごく多いです。このような学校文化を築いてくれた卒業生に心から感謝します。

卒業生のみなさん、そして、卒業生保護者の皆様、改めてご卒業おめでとうございます。中学校での活躍を、小学校から応援しています。



一方、下級生ですが、前回の「６年生を送る会」特集でもお知らせしたとおり、６年生が安心して卒業できるようながんばりを見せてくれています。右の「おはようボード」にあるように、卒業式前日の掃除や準備も、とても気持ちのよいがんばりを見せてくれました。

いよいよ今日で、令和６年度も終わります。子どもたち一人一人が、それぞれ違ったがんばりを見せてくれて、そして、全員がひとまわり成長した１年間でした。保護者の皆様には、本年度も本校の教育活動にご協力くださり、本当にありがとうございました。時々耳にする保護者の皆様からの「子どもが楽しく学校に行っています」「～ができるようになって喜んでいます」「～が好きになりました」といった声が、何よりの励みになりました。また、各行事にたくさん参加してくださり、そのおかげで、子どもたちがとても張り切り、さらに力を発揮することができました。至らない点やご期待に応えられなかった点もあったかと思いますが、学校の取り組みに対して、ご理解してくださったことに心から感謝します。ありがとうございました。

進んで挨拶、増えてきました！

３学期の重点として、子どもたちが**「進んで挨拶をする」**を挙げていました。児童アンケートの数値は、肯定的回答（よくできた、まあできた）の割合が、87.2%　から　88.2%とわずかに上がっているだけですが、３学期の学校評議員訪問では、何人もの評議員さんから「廊下で会った子が、元気に挨拶をしてくれた」と話してくれましたし、先日のＫＢＣの取材の際にも、スタッフの方から挨拶についてお褒めの言葉を頂いています。今後も、「自分から進んで挨拶ができる」については、重点的に取り組んでいきますので、ご家庭でも、お子様への声かけ、家庭内での気持ちのよい挨拶をよろしくお願いします。

春休みの生活について

始業式が４月７日（月）なので、ちょうど２週間の春休みになります。新たな学年に向けて、たくさん元気を蓄え、始業式の日に、元気に会えることを楽しみにしています。

＜安全な生活のために＞

交通安全、不審者対応等、学校でも指導はしておりますが、ご家庭でも繰り返しの声かけをお願いします。事件や事故が起こった後に、「もう少し子どもに注意しておけばよかった…」と後悔しなくていいように。「～してはいけない」ではなく、「私は、何よりあなたの命が大事だから、～だけには気を付けて。」という伝え方が子どもの心に届きます。

また、これも繰り返しお伝えしていますが、近隣の市町村でも、ネット上のトラブルが絶えません。（本校では、この１年大きなトラブルはありませんでしたが、これは、保護者の皆様のご家庭での声かけのおかげだと思っています。） ＬＩＮＥ等ＳＮＳ上でのやりとりでトラブルやいじめにつながる事案は、あちこちで起きていて、被害児童（保護者）から訴えがあった場合、関係していた子のスマホは、徹底して調べられます。これも、起こってからではもう手遅れです。お子様が、スマホやタブレット、ゲーム機などで、よくないやりとりをしていないか、十分に気を付けてください。また、使用時間についても、春休みに入るこの機会に、家庭でのルールの再確認をお願いします。

＜次年度につなぐために＞

２週間、ゆっくり過ごすことも大事ですが、「自分の好きなことに集中して取り組む」「この１年間の学習を復習して、次年度に備える」「お手伝いなど、家庭での自分の役割を果たす」ということも大事にしてほしいと思います。これも、お子様と話し合う時間を取ることをお勧めします。**２週間、目標なしに過ごすのはもったいないです。**

年度末アンケート、ご協力ありがとうございました

次年度４月のＰＴＡ総会の校長説明で、この結果についてはご説明します。記述欄には、多くのご意見ご感想をいただきました。年度末職員会議で全ての職員で共有しよりよい方向に改善していきます。本当にありがとうございました。

＜令和７年度に向けて＞

・ＰＴＡ活動における保護者の負担軽減について

本年度の理事会でもＰＴＡ組織や役員の任期について検討しており、４月に改めてお知らせして、ＰＴＡ総会で話し合う機会をもちますが、「クラスから代表を出す各委員会について、現在、５年生までが３人、６年生４人となっているが、これを減らしていくこと」「ＰＴＡ会長について、理事会役員の中から次年度会長を選出しているが、会長となる方が２年間役員をすることになり負担が大きいので、１年で終わるようにすること」「ＰＴＡ各委員会の委員長も当該年度の委員から選出して、２年間続けなくていいようにすること」等、提案していきます。（総会で承認されたら、令和８年度からの実施になります。）

そのため、次年度のＰＴＡ総会（４月２５日）については、例年行っている講師を招いての講演は行わず、本件についての協議時間を確保します。ぜひ、ご参加ください。

・学級費、積立金等の口座からの引き落としについて

市内では、昨年９月から大石小学校が先行して実施しておりますが、本校についても、新年度の早い段階で、**徴収袋による現金での集金から、給食費やＰＴＡ会費同様、登録された口座からの引き落としに移行**します。月ごとの金額については、現在検討中で新年度にお知らせします。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

今後、保護者の皆様と一緒に考えていきたいこと

ここから先は、学校（校長）としての方向性や決定事項ではないので、私個人の考えとして読んでもらえたらありがたいです。

学校は、子どもたち一人一人の可能性、よさを伸ばしたり、他者とよりよく関わったり、社会のルール等を学んだりする場です。だから、私を含めて職員には、「子どもに力を付ける授業や教育活動」「自分や友達を大切にする、安全、安心、人権などに関わる教育活動や日常の指導」に全力を注ぎたい、と考えています。このためには、もちろん、保護者の皆様や地域との連携も欠かせません。子どもは、学校教育だけでは育ちません。